タッチモニターユーザーガイド

1519L 15.6型 LCD デスクトップタッチモニター
1919L 18.5型 LCD デスクトップタッチモニター

Tyco Electronics

Elo TouchSystems
15.6型 & 18.5 型 LCD タッチモニター

ユーザーガイド

改訂版 **A**

SW601475

Elo TouchSystems
1-800-ELOTOUCH
www.elotouch.com

Copyright © 2010 Tyco Electronics.無断複写・転載を禁じます。
事前にTyco Electronics社の許可書を取得しないで、本書のいかなる部分を電子、磁気、光学、化学、手動などで複製、送信、転写、情報検索システムに記録、あるいはいかなる言語あるいはコンピューター言語への翻訳などは、いかなる形態あるいはいかなる方法でも禁止されています（但し、必ずしもこれらに限定されません）。

責任放棄声明

この文書に記載された情報は、予告なしに変更されることがあります。Tyco Electronicsでは本書の内容に関して明言あるいは保証、特に、特定目的の暗黙の商品性あるいは適切性の保証はしません。Tyco Electronicsは、時折本書記載内容を改訂あるいは変更する権利を有しており、その際、Tyco Electronicsなどいかなる者にもそのような改定あるいは変更に関する通知をする責任はありません。

登録商標承認

AccuTouch、CarrollTouch、Elo TouchSystems、IntelliTouch、Tyco Electronics および TE（ロゴ）はTyco Electronicsの関連会社およびそのライセンサーの商標です。Windowsはマイクロソフト株式会社関連会社の商標です。本書記載のその他の製品名は各社の商標または登録商標です。Tyco Electronicsは当社の商標以外全く関心はありません。

警告/注意

警告

- 爆発の危険があります。可燃性麻酔薬など可燃物がある場所で使用しないでください。
- 火災や感電防止のために、装置を水に浸したり、雨や水滴などに放置しないでください。
- 電源コードの極が完全に差し込まれていない状態で延長コードや差込口が付いた装置を使用しないでください。
- 感電の危険がありますので、開けないでください。感電の危険防止のため、装置の裏面を外したり筐体を開けないでください。修理の際はユーザーが自分で行うのではなく、資格がある修理技術者に依頼してください。
- 装置内の絶縁されていない電圧によって、感電の原因となる場合があります。装置内のいかなる部分にも触れないようにしてください。
- 本装置は医療器具に関する該当電磁放射線および電磁波耐性の基準すべてに準拠しています。本装置は、有害な混信の原因になったり、希望しない操作の原因になるような受信妨害をすべて受け入れないように設計されています。本装置の性能は適用される放射および電磁波耐性の基準に限定されています。医療器具基準に規定されている放射レベルに耐えるように設計されていない装置は本装置の妨害を受ける場合があります。定格性能以上の装置は放射量の規定を超える場合があります。本装置が電磁気などの妨害を発することが判明したら、問題の原因が判明してその原因が解決されるまで電源を切ってください。
- Elo TouchSystems社ではタッチモニターや電力供給の耐用年数が過ぎた後（または、修理不可能な損傷の後）は環境にやさしい方法で廃棄するようにお客様方に推奨しています。その方法としては部品または製品全体の再利用、製品や部品、物質のリサイクルなどがあります。電子装置の安全な廃棄に関する国や州、地方の法令を参考にし、従ってください。

  本製品の蛍光灯には水銀が含まれていますので、地方や州、国の法規に従ってリサイクルまたは廃棄してください。詳細については、米国電子工業会 (Electronic Industries Alliance） www.eiae.org にお問い合わせください。

本製品は水銀が含まれている装置を使用している場合がありますので、廃棄の際には地方や州、連邦法規に従ってリサイクルまたは廃棄してください。（本システムでは、モニタ表示部のバックライトランプに水銀が利用されています。）

注意

- 電源コードは切断装置として使用します。機器の電源を切るには電源コードを切断してください。
- 国の基準や、地方や州の法規に従って本装置を廃棄してください。
- Eloタッチモニターにケーブルを接続する前に、コンポーネントの電源がすべてオフになっていることを確認してください。

  IEC60601-1シリーズに準拠した認証コンポーネントのみが患者環境のET1519/1919LMに接続できます。安全要件に準拠していない付属装置を使用すると、システムの安全性が損なわれる場合があります。付属装置関連考慮事項：患者環境の付属品使用、国家基準のIEC 60601-1および/またはIEC 60601-1-1に準じた付属品の安全性認定証明
- いつまでも安全にご使用いただくために -

  - 医療用電源コードを使用する場合、本装置は上記基準とのみ適合されます。

  - 上記規定のように医療目的使用する場合は医療用電力供給を必ず､使用してください。

注記：

- この記号はユーザーに本装置の操作や保守に関する大切な情報を警告していますので、問題防止のためにも本ユーザーガイドをよく読んでください。

- この記号は直流電流を意味します。

- この記号はスタンドバイスイッチのオン/オフを意味します。

医学/医療用途の責任放棄声明： 買い手が医学や医療用途向けに製品を商業化したり市場に出したりして使用する場合は、製品が買い手の使用目的に適切であること、European Union Medical Device Directive（欧州組合医療機器指令）、United States Federal Food, Drug, and Cosmetic Act（連邦食品・医薬品・化粧品法）、FDA（United States Food and Drug Administration、連邦食品医薬品局）など（但し、必ずしも必要な販売許可に限定されない）の適用法、規制、基準、標準に適合すること、および必要な規制認可など（但し、必ずしもこれらに限定されない）を得て維持することなどは買い手の責任になります。タイコ エレクトロニクス社では上記適用のために製品の安全性、有効性、適切性に関してFDAあるいはその他連邦、州、地方政府機関、あるいは公認機関の支配を求めたり受けたりしません。タイコ エレクトロニクス社の製品を医学あるいは医療目的に評価あるいは使用しようとする者はタイコ エレクトロニクス社側の表明を得ないで、独自の医学的および法的判断に依存しなければなりません。

注意 - 生命維持

本タッチモニターは生命維持システムまたは装置の重要な要素ですので、お手入れを必ずしてください。本タッチモニターの不具合などがあった場合は、適切な代理機能システムをシステムまたは装置に取り入れ、ユーザーや患者に損傷がないようにしてください。

本タッチモニターを重要機能として使用する際には、生命維持システムまたは装置の安全性に大切な以下の事項を取り入れてください。

- タッチスクリーンが操作しない場合のために、別のインターフェースまたは二重安全装置を必ず用意してください。
- 重要機能の制御方法として、タッチスクリーンのインターフェス以外にも別の方法を必ず用意してください。
- モニタまたは重要機能として使用する場合は、安全性のために別のビデオディスプレー装置を利用してください。
- 本タッチスクリーンモニタ内蔵スピーカーだけが重要機能を警告する唯一の方法にならないようにしてください。

重要機能とは以下の事項を指します：

1. (a) 手術で身体に埋め込まれる目的のもの (b) 生命維持が目的のもの (c) 標識に提示された使用指示に従って適切に使用した場合におきる操作不具合の生命維持システムまたは装置がユーザーに重大な損傷を与えると無理なく予想される場合
2. 重要要素は、生命維持システムまたは装置のすべての部分であって、操作不具合のものは無理なく生命維持システムまたは装置の不具合の原因になると無理なく予想される場合

定義：

「患者環境」

意図的または意図的でない接触によって、患者および医用電気機器または医用システムの部品または患者および医用電気機器または医用システムの部品に触る者の間に起こり得る環境すべてを指します。

分類

UL 60601-1
CAN/CSA C22.2 No.601.1

感電や火災に関しては、UL60601-1およびCAN/CSA C22.2 No.60601-1に準拠しています。

本モニタはクラスI （接地済み）装置です。

これらのディスプレイの分類は非適用部品装置です。

水の浸入保護：

保護等級の分類（IPX0）

本モニタは通常の装置として分類されており、空気や酸素、亜酸化窒素の可燃性麻酔薬混合物がある場所で使用しないでください。

操作モード：連続操作

輸送・保存用環境条件

温度	作動	0°C～40°C
	保存/ 輸送	-20°C～+60°C
湿度（凝結無し）		
	作動	30%～70%
	保存/ 輸送	10%～90%
高度	作動	0～3,000M
	保存/ 輸送	0～40,000M 1013～303hP.Aと同等 （14.7～4.4psia）

*完全な製品仕様については付録**C**を参照してください。*

欧州規格および分類

規格： EN 60601-1-2: 2007

EMC制限/検査方法は以下の規格を参照してください：

放射：	電磁波耐性
CISPR11: 2009+A1:2010	IEC61000-4-2:2008
	IEC61000-4-3:2006+A1:2007+A2:2010
（グループ1、クラスB）	IEC61000-4-4:2004 + A1:2010
	IEC61000-4-:205
EN55011:1998+A1:1999+	IEC61000-4-6:2008
A2: 2002,（グループ1、クラスB）	
	IEC61000-4-8:2009
	IEC61000-4-1:2004

IEC61000-3-2:2005
IEC 61000-3-3;2008

ガイダンス/メーカー発表 - 電磁環境耐性 -
全装置およびシステム用

ガイダンス/メーカー発表 - 電磁放射線		
ET1519/1919LMは以下の電磁気環境仕様の使用を対象としています。ET1519/1919LMの顧客またはユーザーはそのような環境で使用するようにしてください。		
放射検査	準拠	電磁環境ガイドライン
RF 放射CISPR 11	グループ1	ET1519/1919LMは内部機能のためにRFエネルギーのみを使用しますので、RF放射は非常に低く、近辺の電子装置への妨害の原因になる可能性はあまりありません。
RF 放射	クラスB CISPR 11	ET1519/1919LMは家庭や、家庭で使用される建物に供給する公共低電圧電源ネットワークに直接接続されているすべての場所での使用に適しています。
ハーモニックス放射 IEC 61000-3-2	該当せず	
電圧変動/ フリッカー発生 IEC 61000-3-3	準拠	

ガイダンス/メーカー発表 - 電磁環境耐性 -
全装置およびシステム用

ガイダンス/メーカー発表 - 電磁環境耐性

ET1519/1919LMは以下の電磁気環境仕様の使用を対象としています。ET1519/1919LMの顧客またはユーザーはそのような環境で使用するようにしてください。

イミュニティ試験 試験レベル	IEC 60601	準拠レベル	電磁環境 – ガイドライン
静電放電（ESD） IEC 61000-4-2	± 6 kV 接触 ± 8 kV 気中	± 6 kV 接触 ± 8 kV 気中	床は木造、コンクリート、セラミックタイルであること。床が合成物質で覆われている場合は、相対湿度は30%以上であること。
電気的ファストトランジェント/バースト IEC 61000-4-4	電源ライン用 ± 2 kV 入力/出力ライン用 ± 1 kV	電源ライン用 ± 2 kV 入力/出力ライン用 ± 1 kV	主電源特性は一般的な商業環境または病院環境であること。
サージ IEC 61000-4-5	± 1 kV ライン間 ± 2 kV ライン-大地間	± 1 kV ライン間 ± 2 kV ライン-大地間	主電源特性は一般的な商業環境または病院環境であること。
電圧ディップ、短時間停電、電源入力ラインの電圧変動 IEC 61000-4-11	<5% U_T （>95% U_T下落) 0.5周期用 40% U_T （60 % U_T下落) 5周期用 70% U_T （30% U_T下落) 25周期用 <5% U_T （>95% U_T下落) 25周期用	<5% U_T （>95% U_T下落) 0.5周期用 40% U_T （60 % U_T下落) 5周期用 70% U_T （30% U_T下落) 25周期用 <5% U_T （>95% U_T下落) 25周期用	主電源特性は一般的な商業環境または病院環境であること。ET1519/1919LMのユーザーが停電の際に操作を継続しなければならない場合は、無停電電源装置またはバッテリから電源を供給してET1519/1919LMを使用するように推奨しています。
電力周波数（50/60 Hz）磁界 IEC 61000-4-8	3 A/m	3A/m	電力周波数磁界は一般的な商業環境または病院環境の一般的な場所の特性レベルになるようにしてください。

注記　U_T は試験レベルを適用する前のAC幹線電圧です。

ガイダンス/メーカー発表 - 電磁環境耐性 -
生命維持用でない全装置およびシステム用

ガイダンス/メーカー発表 - 電磁環境耐性

ET1519/1919LMは以下の電磁気環境仕様の使用を対象としています。ET1519/1919LMのユーザーはそのような環境で使用するようにしてください。

イミュニティ試験	IEC 60601 試験レベル	準拠レベル	電磁環境 – ガイドライン
			携帯型および移動型RF通信装置は、トランスミッタの周波数に該当する方程式から計算される推奨分離距離よりも近くでケーブルなどET1519/1919LMを使用してはなりません。 推奨分離距離
伝導RF	3 Vrms	3 Vrms	$d=1.2\sqrt{P}$
放射RF IEC 61000-4-3	3 V/m 80 MHz ～ 2.5 GHz	3 Vrms	$d=1.2\sqrt{P}$ 80MHz～800 MHz $d=2.3\sqrt{P}$ 800 NHz～2.5GHz トランスミッタのメーカーによると、*P*はトランスミッタの最大出力電力定格（W）で、*d* は推奨分離距離（m）です。 電磁現場調査[3]で決定したように、固定RFトランスミッタの電場強度は各周波数範囲[4]の準拠レベル以下でなければなりません。 装置の近辺では障害が起きる場合があり、以下の記号で表示されています：

注記1　80 MHzおよび800 MHzでは、高周波数範囲が適用されます。
注記2　これらのガイドラインはすべての状況に当てはまらない場合があります。電磁伝播は建物や物体、人々の吸収や反射に影響されています。

[3] 無線（携帯/コードレス）電話や陸上移動無線、アマチュア無線、AM/FMラジオ放送、テレビ放送など固定トランスミッタの電場強度は正確に理論を予想することはできません。固定RFトランスミッタによる電磁環境を評価するには、電磁現場調査を考慮してください。ET1519/1919LMを使用する場所の磁場強度が適用RF準拠レベルを超える場合は、ET1519/1919LMの操作を確認してください。異常な状況が確認された場合はET1519/1919LMを新しい方向に向けたり配置転換して再度測定してください。[4] 周波数範囲が150 kHz～80 MHzを越える場合は、電場強度が3Vrm以下になるようにしてください。

携帯型/移動型RF通信装置およびET1519/1919LM間の推奨分離距離
生命維持用でない装置およびシステム用

携帯型/移動型RF通信装置およびET1519/1919LM間の推奨分離距離

ET1519/1919LMは放射RF距離が制御されている電磁環境で使用するためのものです。
ET1519/1919LMの顧客またはユーザーは、通信装置の最大出力電力に従って以下に推奨のとおり、携帯型および移動型RF通信（装置）およびET1519/1919LM 間の距離を最低に維持することによって電磁妨害を防止できます。

トランスミッタの定格最大出力電力 W	トランスミッタ周波数による分離距離		
	150 kHz～80 MHz d=1.2 P	80MHz～800 MHz d=1.2 P	800 MHz～2.5 GHz d=2.3 P
0.0	0.1	0.1	0.2
0.1	0.3	0.3	0.7
1	1.2	1.2	2.3
10	3.7	3.7	7.4
100	12	12	23

上記以外の最大出力電力の定格トランスミッタの場合、推奨分離距離（m）をトランスミッタの周波数に適用される方程式を使って見積もることができます。トランスミッタのメーカーによると、Pはトランスミッタの最大出力電力定格（W）です。

注記1　80 MHzおよび800 MHzでは、高周波数範囲の分離距離が適用されます。
注記2　これらのガイドランがすべての状況に当てはまらない場合があります。電磁伝播は建物や物体、人々の吸収や反射に影響されています。

もくじ

第1章
はじめに 1-1
製品詳細 1-1

第2章
インストール/セットアップ 2-1
タッチモニターの開梱 2-2
スタンドプレートの組み立て..... 2-4
インターフェース接続 2-5
スピーカーとオーディオ..... 2-5
製品外観..... 2-6
正面 2-6
背面 2-6
ドライバソフトのインストール..... 2-7
シリアルタッチドライバのインストール（音響パルス認識モニターに適用しない場合）.. 2-8
Windows 7、Windows Vista、Windows XP、Windows 2000、ME、95/98およびNT4.0用シリアルタッチドライバのインストール 2-8
MS-DOSおよびWindows 3.1用シリアルタッチドライバのインストール 2-9
USBタッチドライバのインストール..... 2-10
Windows 7、Windows Vista、Windows XP、Windows 2000、MEおよびWindows 98用USBタッチドライバのインストール..... 2-10

第3章
操作 3-11
タッチモニターの表示調整 3-11
底面の操作ボタン 3-12
コントロールおよび調整..... 3-13
オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニュー機能 3-13
オンスクリーンディスプレイ（OSD）のロック/アンロック 3-13
オンスクリーンディスプレイ（OSD）操作の詳細 3-14
プリセットモード 3-15
省電力モード 3-16
角度（チルト） 3-16

第4章
トラブルシューティング 4-17
よくある問題の解決方法 4-17

付録A
ネイティブ解像度.....A-18

付録B
タッチモニターの安全 B-20
タッチモニターのお手入れ/お取り扱い B-21

付録C
技術仕様 C-22
15型LCDタッチモニター（1519L）寸法図 C-25
19型LCDタッチモニター（1919L）寸法図 C-26

規制情報 27

保証 30

第 1 章

はじめに

製品概要

1519/1919LM タッチモニターはタッチ技術の信頼できる性能とLCD表示の最新設計を組み合わせています。このような機能を組み合わせることによってユーザーとタッチモニター間で情報が自然に流れるようになります。

本LCDモニターは15.6型または18.5型のカラーアクティブマトリックス薄膜トランジスタ（TFT）液晶ディスプレーを組み入れ、高品質ディスプレー性能を提供しています。WXGAの最大解像度1366 x 768はグラフィックや画像を表示するには最適です。本LCDタッチモニターの性能を強化する機能として、プラグ&プレイの互換性、表示画面（OSD）制御、Elo特有のZero-Bezel（ゼロベゼル）音響パルス認識（APR）、AT、ITタッチスクリーンがあります。さらに、1519/1919LMは縦方向あるいは横方向に簡単に構成できます。

注意事項

タッチモニターをより長く使用するため、本取扱説明書の全ての警告、注意、保守手順を遵守してください。
タッチモニターの安全情報に関する詳細情報ついては、別紙Bを参照してください。

第 2 章

インストールとセットアップ

本章では、1519L/1919L LCDタッチモニターとドライバソフトウエアのセットアップについて説明します。

タッチモニターの開梱

以下が同梱されていること、及び異常がないことを確認して下さい。

LCDタッチモニター

VGAケーブル

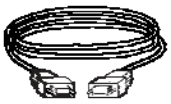
USBケーブル

オーディオケーブル

CD-ROM と
クイックインストール
ガイド

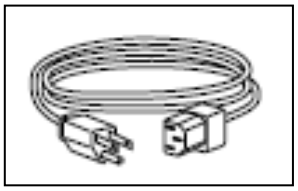
パワーブリック

シリアルケーブル
（APRモデルには含まれません）



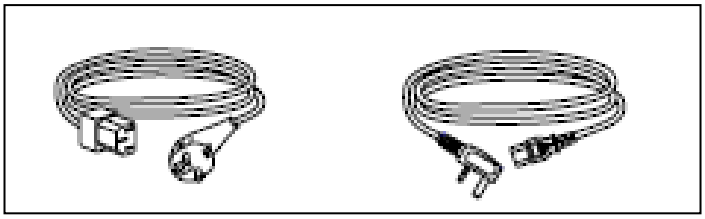
DVIケーブル

北米モデル用電源ケーブル



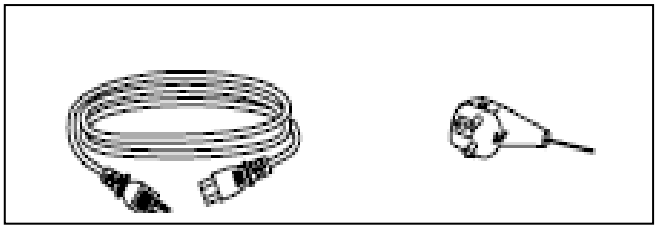
アメリカ/UL 電源ケーブル

ヨーロッパ用電源ケーブル



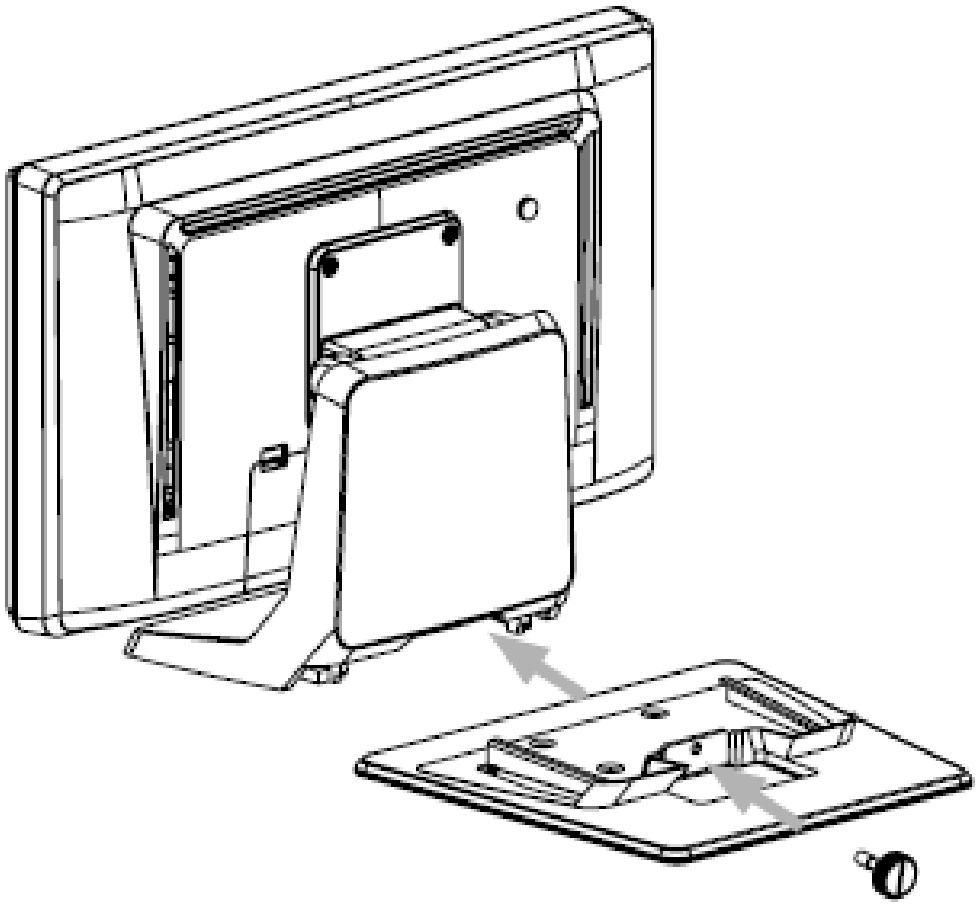
ヨーロッパ/VDE電源ケーブル　　英国電源ケーブル

日本モデル用電源ケーブル



日本/PSE電源ケーブル　　アダプター/ターミナル

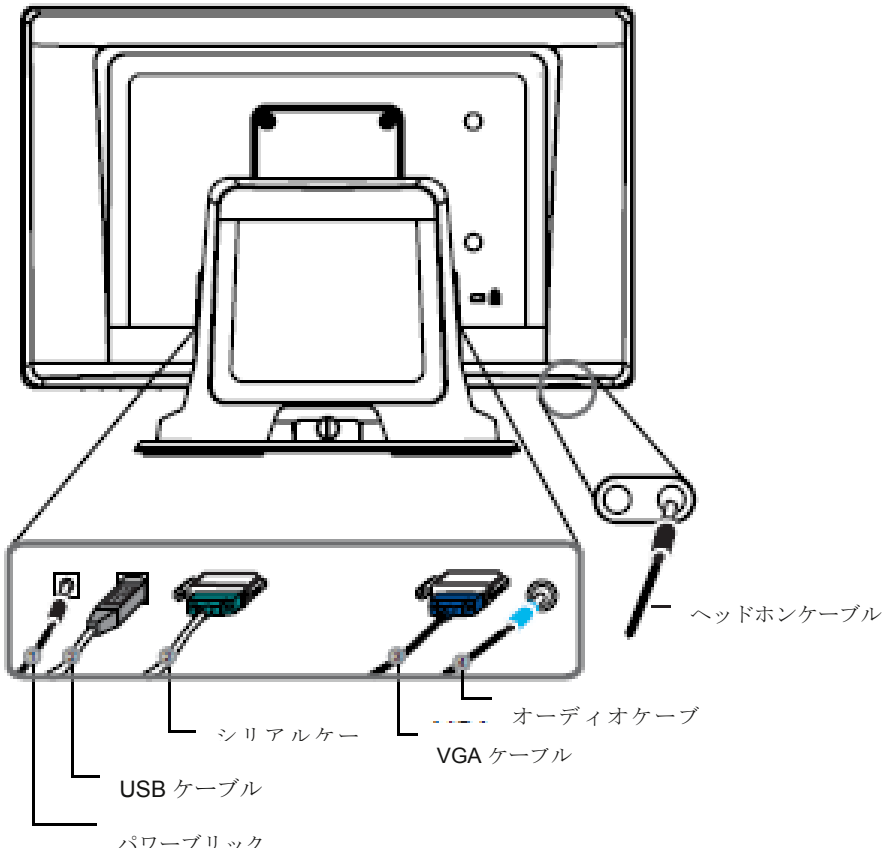
スタンドプレートの組み立て



スタンドプレートをスタンドに向かって、きつくなるまで押し、拘束ネジで固定して下さい。

インターフェース接続

注記： タッチモニターとコンピューター間にケーブルを接続する前に、タッチモニターとコンピューターがオフであることを確認して下さい。



1. パワーブリックのAC電源ケーブルをモニターに接続し、もう片方のAC電源ケーブルをAC電源（コンセント）に接続してください。

2. タッチスクリーン用のRS232Cケーブルあるいは USBケーブル（片方だけ）をLCDタッチモニターとコンピューター間に
   接続してください。つまみネジ2個を右回りに回して締め、接地を確認してください。

3. VGAケーブルあるいはDVIケーブルの端をコンピューターの背面に、もう片方をLCDモニターに接続してください。
   つまみネジ2個を右回りに回して締め、接地を確認してください。

4. オーディオケーブルの端をコンピューターの背面に、もう片方をLCDモニターに接続してください。

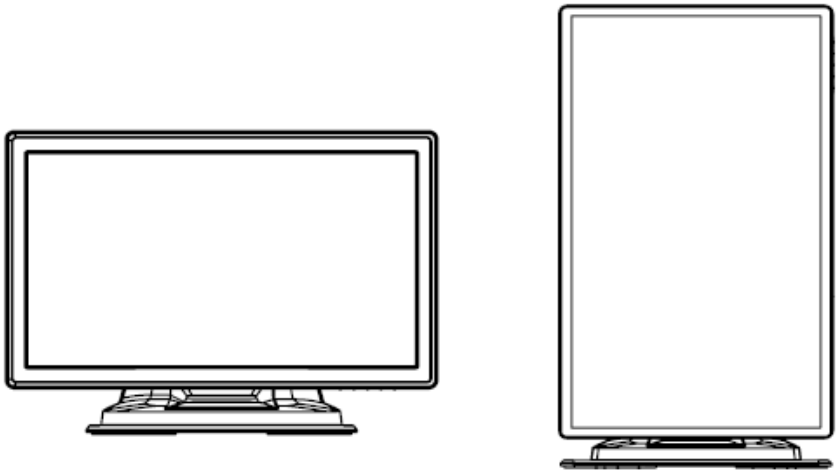
5. モニターに向かって、モニターの右下にある電源ボタンを押してください。

スピーカーとオーディオ

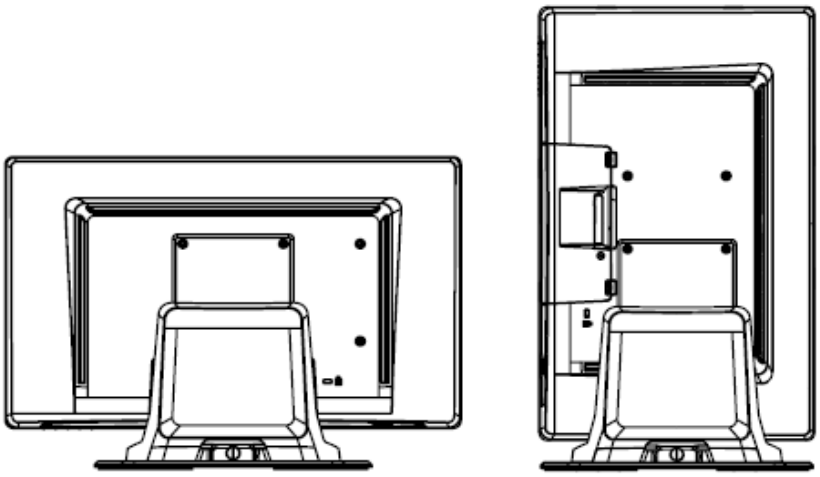
タッチモニターはステレオスピーカーを2個内蔵しています。スピーカーを使用するには、オーディオケーブルをオーディオ入力ポートにプラグを接続し、もう片方をコンピューターに接続してください。
ヘッドホンを使用するには、ヘッドホンを上記のようにオーディオ出力ポートにプラグを接続してください。ヘッドホンが接続したら、音はヘッドホンから再生されます。ボリュームの調整とミュートの選択は、3～14ページに記載のように表示画面（OSD）制御パネルで「オーディオ」を使って調整してください。

製品外観

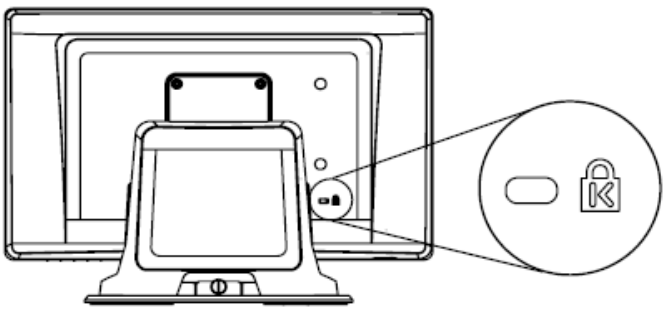
正面



背面



Kensington™ ロック



Kensington™ ロックは盗難防止のために装備されています。詳細は、
http://www.kensington.comを参照してください。

ドライバソフトのインストール

Elo TouchSystemsでは、お持ちのコンピュータでタッチモニターが作動するようにドライバソフトを提供しています。以下のオペレーティングシステムに適用するタッチドライバのソフトウェアが、同封のCDに入っています。

- Windows 7
- Windows Vista
- Windows XP
- Windows 2000
- Windows Me
- Windows 98
- Windows 95
- Windows NT 4.0
- Windows 3.1
- MS-DOS

他のドライバや、他のオペレーティングシステムのドライバ情報については、Elo TouchSystems のウェブサイト：www.elotouch.comでご覧いただけます。

お求めのElo タッチモニターはプラグアンドプレイ対応です。タッチモニターのビデオ機能に関する情報は、Windowsが起動するときにビデオ表示アダプタに送信されます。Windowsがタッチモニターが検出したら、スクリーンの指示に従って一般的なプラグアンドプレイモニターとしてインストールして下さい。

ドライバをインストールする際には、次の章を参照してください。

シリアル通信ケーブルまたはUSB通信ケーブルのどちらかを接続するかによって、シリアルドライバかUSBドライブのどちらかをインストールしてください。

シリアルタッチドライバのインストール（音響パルス認識モニターに適用しない場合）

Windows 7、Windows Vista、Windows XP、Windows 2000、ME、95/98およびNT4.0用シリアルタッチドライバのインストール

注記： Windows 2000およびNT4.0の場合、ドライバをインストールするには管理者アクセス権利が必要です。シリアルコネクタ（RS232）がモニタとコンピューターのオープンCOMポートに接続されているか確認してください。

1 コンピュータのCD-ROM ドライブにElo CD-ROMを挿入してください。
2 CD-ROMドライブのAutoStart（オートスタート）機能が作動している場合は、システムが自動的にCDを検知して設定プログラムを開始します。
3 スクリーンの指示に従ってWindowsのドライバ設定を完了してください。.
4 AutoStart（オートスタート）機能が作動していない場合：
5 **Start**（開始） **> Run**（実行）をクリックしてください。
6 **Browse**（参照）ボタンをクリックしてCD-ROMのEloCd.exeプログラムを確認してください。
7 **Open**（開く）をクリックしてから**OK**をクリックしてEloCd.exeプログラムを実行します。
8 スクリーンの指示に従ってWindowsのドライバ設定を完了してください。

MS-DOSおよびWindows 3.1用シリアルタッチドライバのインストール

DOSのタッチモニターと共にマウスを使用する場合、DOSマウスドライバ（MOUSE.COM）をマウスにインストールする必要があります。

Windows 95/98のWindows 3.xおよびMS-DOSをインストールするには、以下の指示に従ってください：

1 コンピュータのCD-ROMドライブにCD-ROMを挿入してください。
2 DOSプロンプトで「d:」をタイプして **Enter**（入力）キーを押してCD-ROMを選んでください（CD-ROMドライブは違うドライブレターにマップする場合があります）。
3 「cd¥elodos_w31」をタイプして正しいディレクトリに変更してください。
4 「**Install**（インストール）」をタイプして**Enter**（入力）を押しインストールを開始してください。
5 タッチスクリーンを較正します。

USBタッチドライバのインストール

Windows 7、Windows Vista、Windows XP、Windows 2000、MEおよびWindows 98用USBタッチドライバのインストール

1 コンピュータのCD-ROMドライブにElo CD-ROMを挿入してください。

Windows 98 またはWindows 2000が新しいハードウェアの追加ウィザードを開始したら、以下に従ってください：

2 **Next**（次へ）を選び、「Search for the best driver for your device (Recommended)（使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨））」を選び、**Next**（次へ）を選んでください。

3 検索場所のリストが表示されたら、「Specify a location（場所を指定する）」にチェックマークを付けて、**Browse**（参照）を使ってElo CD-ROMの¥EloUSBディレクトリを選択してください。

4 **Next**（次へ）を選び、Elo USBタッチスクリーンドライバが検知されたら、再度**Next**（次へ）を選んでください。

5 コピーされたファイルがいくつか表示されますので、指示が出たらWindows 98 CDを挿入して**Finish**（終了）を押します。

Windows 98またはWindows 2000が新しいハードウェアの追加ウィザードを開始しなかったら、以下に従ってください：

注記： Windows 2000をご使用の場合は、ドライバをインストールするには管理者アクセス権が必要です。

1 コンピュータのCD-ROMドライブにElo CD-ROMを挿入してください。CD-ROMドライブのAutoStart（オートスタート）機能が作動している場合は、システムが自動的にCDを検知して設定プログラムを開始します。

2 スクリーンの指示に従ってWindowsのドライバ設定を完了してください。

AutoStart（オートスタート）機能が作動していない場合：

1 **Start**（開始）**> Run**（実行）をクリックしてください。

2 **Browse**（参照）ボタンをクリックしてCD-ROMのEloCd.exeプログラムを確認してください。

3 **Open**（開く）をクリックしてから**OK**をクリックしてEloCd.exeプログラムを実行します。

4 スクリーンの指示に従ってWindowsのドライバ設定を完了してください。

Windows XPおよびWindows VISTAのAPR USBタッチドライバのインストール

コンピュータのCD-ROMドライブにElo APR CD-ROMを挿入してください。
スクリーンの指示に従ってWindowsのAPR 3.1ドライバ設定を完了してください。ソフトが完全にロードされるまでUSBケーブルのプラグを接続しないでください。終了してUSBーブルのプラグを接続すると、アライメントデータが転送されます。

注記： 最新のドライバは、elotouch.comのドライバダウンロードの箇所からダウンロードしてください。

第3章 操作

タッチモニターの表示調整

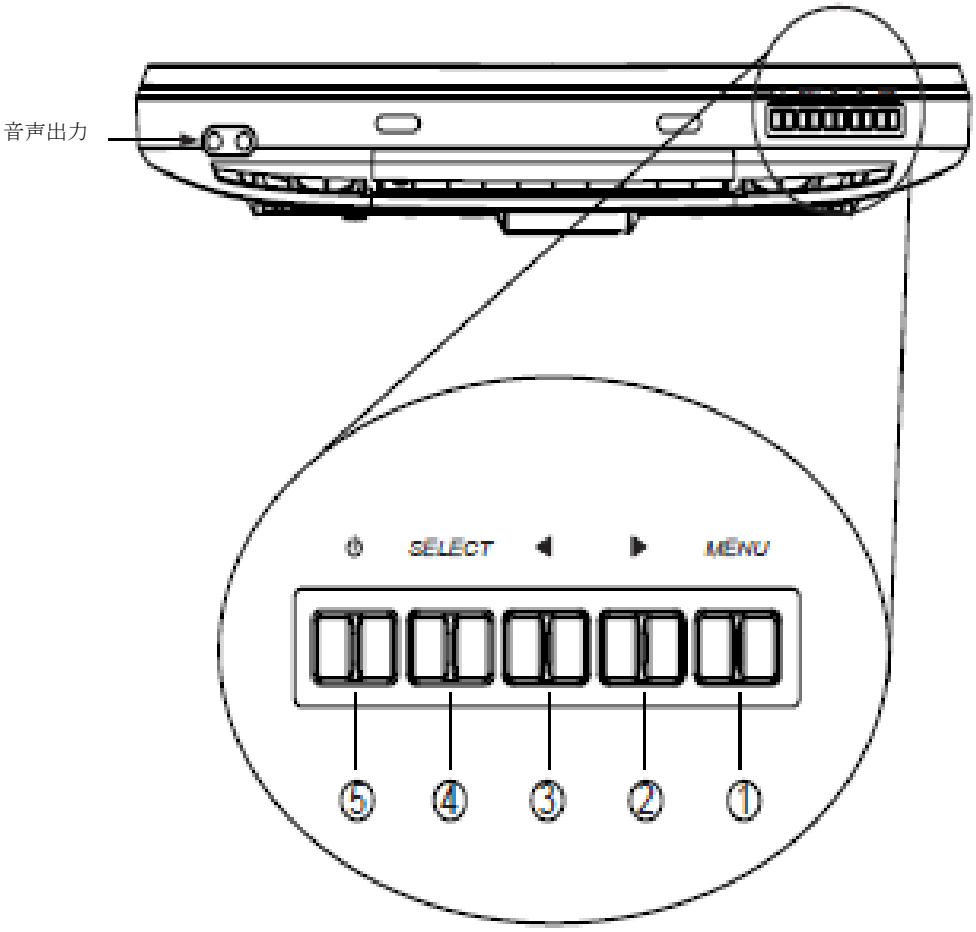
通常、タッチモニターは表示の調整を必要としませんが、映像信号の違いや用途によっては、表示の質を最適にするためにタッチモニターに調整が必要な場合があります。

最適な表示のためには、入力ビデオ解像度はタッチモニターのネイティブ解像度1366 x 768が推奨されます。Windowsの表示コントロールパネルで、1366 x 768の解像度を選択して下さい。

それ以外の解像度で使用されと、ビデオ性能が低下する場合があります。詳細については、別紙Aを参照してください。

コントロールに加えられた調整はすべて自動的に保存されますので、タッチモニターのプラグを外したり、電源をオフ/オンにするたびにリセットする必要がなくなります。電源障害があった場合でも、タッチモニターの設定は工場仕様に初期化されません。

底面の操作ボタン



コントロール	機能
1 **Menu/Exit**	OSDメニューの表示/終了
2 ▶	1. OSDの輝度設定 2. 設定値の増 3. OSD選択移動（上方）
3 ◀	1. OSDの音声設定 2. 設定値の減 3. OSD選択移動（下方）
4 選択	1. ビデオ源の選択 オプション：VGA優先、DVI優先 初期設定：DVI優先 2. OSDメニューから調整値を選択
5 電源スイッチ	タッチモニターの電源スイッチ

コントロールおよび調整

オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニュー機能

オンスクリーンディスプレイ（OSD）機能の表示および選択：

1. OSDメニューを表示する場合は、Menu（メニュー）キーを押して下さい。

2. ▶あるいは◀ボタンを使ってメニューを上下に移動し、「Select（選択）」キーを押して下さい。メニューの内容が実行されるか、サブメニューに入ります。

3. OSDスクリーンを終了するには、Menu（メニュー）キーを押して下さい。短時間何も押さない場合は、自動的に消えます。

注記： OSDメニュー表示は、入力されない時間が15秒以上になると、あるいはOSDメニューのタイマー設定時間によって自動的に消えます。

オンスクリーンディスプレイ（OSD）のロック/アンロック

OSD機能はロックしたりアンロックできます。モニターはアンロック状態で出荷されます。

OSDロックの方法：

1. 「OSD Unlocked（アンロック）」のウィンドウが表示されるまで、Menu（メニュー）ボタンと▶ボタンを同時に押し続けて下さい。更に、「OSD Locked（ロック）」ウィンドウが表示されるまで、ボタンを押し続けて下さい。

2. パワーロック機能をアンロックするには、上記同様、、「OSD Locked（ロック）」のウィンドウが表示されるまで、繰り返して下さい。

パワーロックの方法

1. 「Power Locked（ロック）」のウィンドウが表示されるまで、Menu キーと◀キーを同時に押し続けて下さい。更に、 「Power Locked（ロック）」ウィンドウが表示されるまで、ボタンを押し続けて下さい。
2. パワーアンロックするためには、上記同様、「Power Unlocked（アンロック）」のウィンドウが表示されまで、繰り返して下さい。

オンスクリーンディスプレイ（**OSD**）操作の詳細

コントロール	説明
自動調整	「自動調整」を選択すると、垂直位置、水平位置、クロック、位相が自動的に調整
明るさ	
- 輝度	輝度の増減
- コントラスト	コントラストの増減
画像設定	
- 水平位置	画像位置を左右に移動
- 垂直位置	画像位置を上下に移動
- クロック	自動調整後、ドットクロックの微調整
- 位相	位相の増減
色	▶あるいは◀ボタンを使って、9300K、6500K、5500K、7500Kあるいはユーザー設定から選択できます。ユーザー設定では、赤・緑・青色の値が調整可能です。
音声	
- ミュート	ミュートの有効/無効の選択
- ボリューム	音声のボリューム調整
OSD	
- OSD水平位置調整	OSDの位置を垂直・水平位置に調整
- OSDタイムアウト	OSDメニューの表示時間を調整
- 言語	英語、仏語、伊語、独語、ｽﾍﾟｲﾝ語、日本語、繁体中語、簡体中国語から言語を選択
国	
リコール	デフォルト設定に戻す
その他	
- アスペクト比	
- フル画面表示	LCDアスペクト比が何であろうとも、LCDがスキャンを超えたり下にならないように映像を計る。映像のアスペクト比変更
- アスペクト比固定	LCDの高さと同等ななるように映像の高さを設定。LCDスクリーンの左右には黒いバーが表示される場合がある
- 鮮明さ	個々の4ステップを使って1から5の範囲でビデオ信号の鮮明さを調整
終了	OSD表示を終了

プリセットモード

本タッチモニターは、各モードでの調整を減らすために、以下の表のプリセットモードを有しています。これらの表示モードとして認識された場合、自動的にプリセットされた設定で表示されます。どのプリセットモードにも一致しなかった場合、ユーザー設定モードとして保存することが可能です。本タッチモニターは7つのユーザーモードを保存することが可能です。ユーザーモードは、水平同期信号の周波数が1KHz以上異なる場合、垂直同期信号の周波数が1Hz以上異なる場合、同期信号の極性が異なる場合に保存されます。

解像度	垂直同期信号周波数
720 x 350	70 Hz（フルスクリーンで表示されません）
720 x 400	70 Hz
640 x 480	60/72/75 Hz
800 x 600	56/60/72/75 Hz
832 x 624	75 Hz
1024 x 768	60/70/75 Hz
1280 x 800	60 Hz
1280 x 960	60 Hz
1280 x 1024	60/75 Hz
1360 x 768	60 Hz
1366 x 768	60 Hz
1440 x 900	60 Hz
1600 x 1200	60 Hz
1680 x 1050	60 Hz

省電力モード

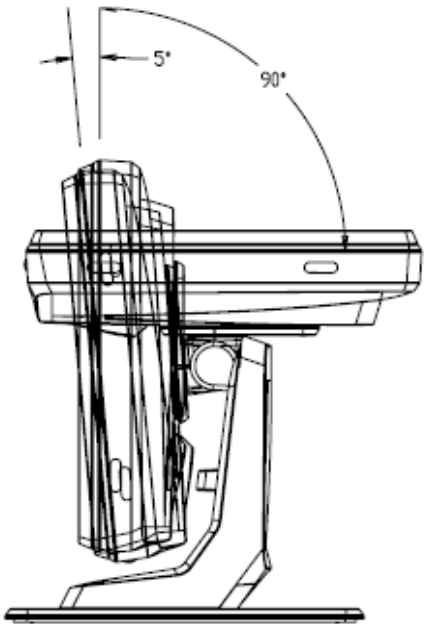
モード	電力 (12V DC入力時)
オン	<42W
スリープ	<4W
オフ	<2W

長時間使用されない場合は、スイッチをオフにすることをお勧めします。

注記： VESA電源管理規格（DPMS）に準拠しています。モニターをオンモードにするためには、キーボードを押す、マウスを動かす、タッチスクリーンを触るなどしてください。タッチスクリーンがDPMシステムからモニターを提示するには、タッチスクリーン機能が完全に機能する状態でなければなりません。

角度（チルト）

LCDタッチモニターは、はっきりと見るために前方（最高–5度）や後方（最高90度）にチルトすることが可能です。



注意 LCDモニターを保護するために、スタンド部を持って調整して下さい。また、タッチスクリーン部に触 らないで下さい。）

第4章

トラブルシューティング

タッチモニターで不具合が起きた場合は、下記の表を参照して下さい。不具合が直らない場合は代理店か、サービスセンターまでご連絡下さい。

よくある問題の解決方法

問題	対応
システムを作動させてもモニターが起動しない	1. モニターの電源スイッチがオンになっているか確認して下さい。 2. 電源を切って、モニターの電源コードや信号ケーブルが適切に接続されているか確認して下さい。
スクリーンの文字がぼやけて見える	表示調整の項を参照してタッチモニターの鮮明度を調整してください。
スクリーンが空白状態になる	1. コンピュータの省電力機能が作動して、操作中にモニターのスクリーンが自動的に消えることがあります。何れかのキーを押してスクリーンが再表示されるか、確認してください。 2. 表示調整の項を参照してタッチモニターの鮮明度を調整してください。
最初にモニターを入れるとスクリーンがフラッシュする	モニターをオフにしてから、もう一度モニターをオンにしてください。
「許容範囲外」が表示される	コンピューターの解像度を再設定して、モニターの支援ビデオモードを確認してください（付録C参照）。解像度の詳細については、付録Aを参照してください。
タッチが作動しない	タッチケーブルの両端がしっかりと取り付けられているか確認してください。

A

ネイティブ解像度

モニターの最適解像度は、LCDパネルが最適に表示するように設計された解像度です。本15.6型と18.5型LCDタッチモニターの最適解像度は1366 x 768です。スクリーンの画像はそれぞれのネイティブ解像度でご覧いただけると最高の画像をお楽しみいただけます。モニターの解像度設定を低くすることはできますが、高くはしないでください。

入力映像信号	1519LM/1919LMモニター
640 x 480 (VGA)	入力フォーマットを1366 x 768に変更
800 x 600 (SVGA)	入力フォーマットを1366 x 768に変更
1024 x 768 (SVGA)	入力フォーマットを1366 x 768に変更
1366 x 768 (WXGA)	ネイティブ解像度で表示
1360 x 768	サイズ調整して表示

LCDのネイティブ解像度はLCDの水平方向のピクセル数とLCDの縦方向のピクセル数です。LCD解像度は一般的に以下のように表示されます。

VGA	640 x 480
SVGA	800 x 600
XGA	1024 x 768
SXGA	1280 x 1024
UXGA	1600 x 1200
WXGA	1280 x 800
SXGA-	1280 x 960
WXGA	1366 x 768
WXGA+	1440 x 900
WSXGA+	1680 x 1050

例として、SVGA解像度のLCDパネルは水平800ピクセル、垂直600ピクセルです。入力ビデオも同じように表すことができます。XGA入力ビデオは水平1024ピクセル、垂直768ピクセルからなっています。ビデオ入力の入力ピクセルとパネルのネイティブ解像度が一致する場合、入力ビデオピクセルとLCDピクセルは1対1でマッピングされます。 例えば、入力ビデオの45列と26列はLCDの45列と26列です。入力ビデオがLCDのネイティブ解像度よりも低い解像度の場合、ビデオピクセルとLCDピクセル間の直接の一致が失われます。LCDコントローラーはコントローラーのアルゴリズムを使ってビデオピクセルとLCDピクセル間の対応を計算できます。アルゴリズムの正確さはビデオピクセルからLCDピクセルに変換する忠実度によって決定されます。変換の忠実度が良くないと、文字の幅が変動するようにLCD表示画像が不自然な結果になります。

B

タッチモニターの安全

本マニュアルにはタッチモニターの適切な設定方法やメンテナンスなどの重要な情報が記載されています。タッチモニターを設定したり電源を入れる前に、特に、本マニュアルの第2章（インストール/セットアップ）、第3章（操作）についてよく読んでください。

1 感電の危険を少なくするために、安全に関する警告に従い、タッチモニターのケースは絶対に開けないでください。
2 クリーニングする前に製品の電源をオフにしてください。
3 タッチモニターの側面や上面の細長いすき間は換気用ですので、このすき間をふさいだり、何かを挿入したりしないでください。
4 タッチモニターが濡れないように十分に注意を払ってください。モニタに水分が入ったり、水滴を落としたりしないでください。また、タッチモニターが濡れた場合は自分で修理を試みないでください。

タッチモニターが最適レベルで機能するように以下の点に従ってください。

- 感電の危険を避けるため、パワーブリックやタッチモニターを分解しないでください。ユーザーはユニットの修理を行わないでください。クリーニングの際には、タッチモニターの電源プラグを抜いてから行ってください。
- アルコール（メチル、エチル、イソプロピル）など溶解力の強いものを使用しないでください。また、シンナー、ベンジン、研磨剤、圧縮空気を使用しないでください。
- 表示ユニットのキャビネットをクリーニングする際には、中性洗剤で軽く湿らせた布を利用してください。
- タッチモニターの内側に液体が入らないようにしてください。液体が内側に入ってしまった場合は、もう一度電源を入れる前に資格があるサービス技術者に点検してもらってください。
- スクリーンの表面を傷つけることがあるので、布やスポンジで拭かないでください。
- タッチスクリーンをクリーニングする際は、窓ガラス用洗剤かガラス磨きスプレーを使用してください。布に洗剤をつけてからタッチスクリーンを拭いてください。絶対に、洗剤を直接タッチスクリーンにスプレーしないでください。

警告

本製品は水銀が含まれているデバイスを使用している場合がありますので、地方法、州法、連邦法に従ってリサイクルあるい破棄してください。（本システムではモニタ表示内のバックライトランプに水銀が含まれています。）

電気装置および電子装置の破棄（WEEE）指令

欧州連合では、本ラベルは「本製品は家庭廃棄物として処理してはならない」という意味を示しています。修理やリサイクルのために適切な施設に処理してください。

別紙

C

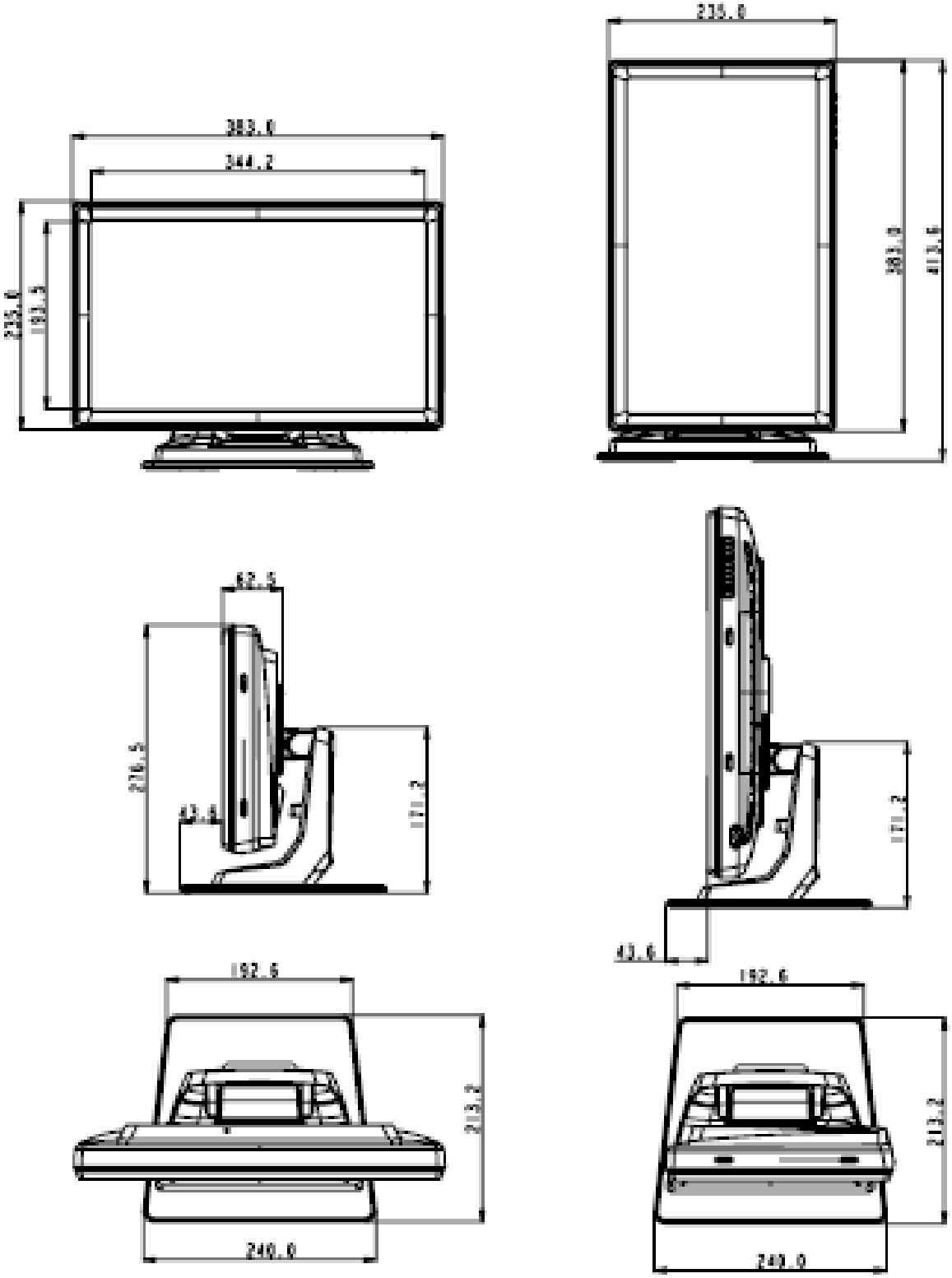
技術仕様

タッチモニター仕様

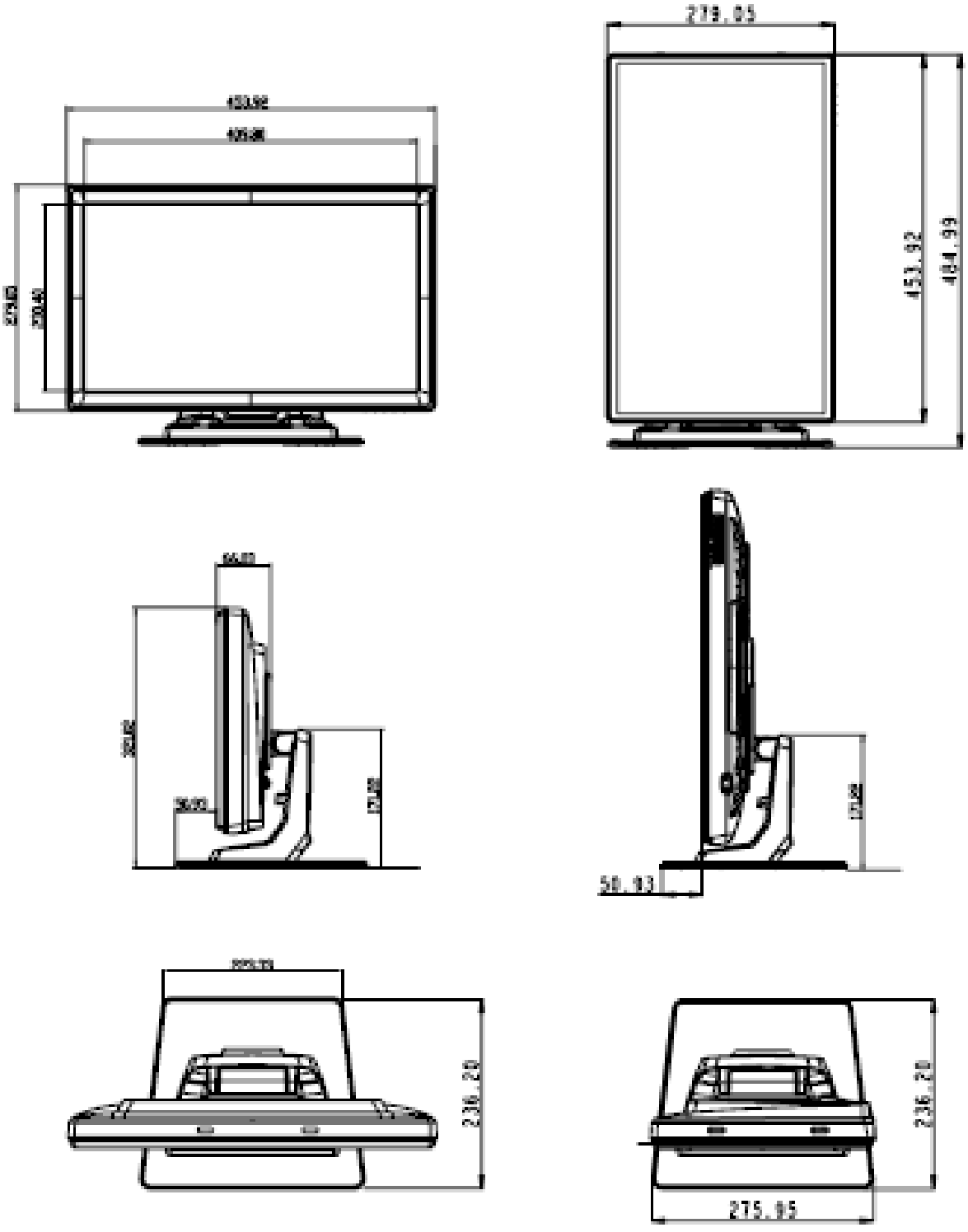
モデル		1919LM
LCD表示		18.5型TFTアクティブマトリクスパネル
表示サイズ		409.8 (H) x 230.4 (V) mm
ピクセルピッチ		0.3 (H) x 0.3 (V) mm
ネイティブ解像度		1366 x 768
表示モード		720 x 350 (70Hz) -（全画面で表示されない場合があります） 720 x 400 (70Hz) 640 x 480 (60 / 72 / 75Hz) 800 x 600 (56 / 60 / 72 / 75Hz) 832 x 624 (75Hz) 1024 x 768 (60 / 70 / 75Hz) 1280 x 800 (60Hz) 1280 x 960 (60Hz) 1280 x 1024 (60 / 75Hz) 1360 x 768 (60Hz) 1366 x 768 (60Hz) 1440 x 900 (60Hz) 1600 x 1200 (60Hz) 1680 x 1050 (60Hz)
コントラスト比		1000 : 1 （一般的）
輝度		LCDモニタ：一般的 300 Cd/m^2、240 Cd/m^2以上 AccuTouch：一般的 240 Cd/m^2、180 Cd/m^2 以上 IntelliTouch：一般的 270 Cd/m^2、204 Cd/m^2 以上 音響パルス認識：一般的 270 Cd/m^2、204 Cd/m^2以上
応答時間		Tr+Tf =5ms（一般的）
表示色数		16.7M
視野角		垂直±80° 水平±85°
入力信号	信号の種類	R.G.B. アナログ 0.7Vp-p、75 ohm
	同期	TTL 正/負、緑で同期または複合同期
	コネクタ	ミニD-Sub15ピン、DVI-D
下部制御		メニュー、►、◄ 、選択、電源
スピーカー		2W内部スピーカー2個
音声入力コネクタ		3.5mm TRSジャック
ヘッドホン出力コネクタ		3.5m TRSジャック2個
OSD		コントラスト、 輝度、水平/垂直表示位置、色温度、位相、クロック、OCDタイム、リコール、言語：英語、仏語、伊語、独語、スペイン語、日本語、繁体字/簡体字中国語
プラグアンドプレイ		DDC 2B
タッチパネル		AccuTouch /IntelliTouch/音響パルス認識
電源アダプタ		入力：AC 100～240V、50-60Hz 、出力：DC 12V/4A
稼動条件	温度	0° C ~ 40° C
	湿度	20% ~ 80% （凝結無し）
	高度	0 ～3,000m
保存条件	温度	-20° C ~ 50° C
	湿度	10% ~ 90% （凝結無し）
	高度	0 ～12,192m
外形寸法（HxWxD）		453.92 x 321.02 x 236.2mm
重量（梱包前）		7.3Kg
認証		CUL、UL、CE、FCC、VCCI、ICES-003

モデル		1519LM
LCD表示		15.6型TFTアクティブマトリクスパネル
表示サイズ		344.232 (H) x 193.536 (V) mm
ピクセルピッチ		0.252 (H) x 0.252 (V) mm
ネイティブ解像度		1366 x 768
表示モード		720 x 350 (70Hz) -（全画面で表示されない場合があります） 720 x 400 (70Hz) 640 x 480 (60 / 72 / 75Hz) 800 x 600 (56 / 60 / 72 / 75Hz) 832 x 624 (75Hz) 1024 x 768 (60 / 70 / 75Hz) 1280 x 800 (60Hz) 1280 x 960 (60Hz) 1280 x 1024 (60 / 75Hz) 1360 x 768 (60Hz) 1366 x 768 (60Hz) 1440 x 900 (60Hz) 1600 x 1200 (60Hz) 1680 x 1050 (60Hz)
コントラスト比		500 : 1（一般的）
輝度		LCDモニター：一般的 250 Cd/m^2、210 Cd/m^2以上 AccuTouch：一般的 200 Cd/m^2、157.5 Cd/m^2 以上 IntelliTouch：一般的 225 Cd/m^2、178.5 Cd/m^2 以上
応答時間		Tr+Tf =8ms （一般的）
表示色数		16.7M
視野角		垂直 -45°/+20° 水平 ±45°
入力信号	信号の種類	R.G.B. アナログ 0.7Vp-p、75 ohm
	同期	TTL正/負、緑で同期または複合同期
	コネクタ	ミニD-Sub 15ピン、DVI-D
下部制御		メニュー、▶、◀ 、選択、電源
スピーカー		2W内部スピーカー2個
音声入力コネクタ		3.5mm TRSジャック
ヘッドホン出力コネクタ		3.5m TRSジャック2個
OSD		コントラスト、 輝度、水平/垂直表示位置、色温度、位相、クロック、OCDタイム、リコール、言語：英語、仏語、伊語、独語、スペイン語、日本語、繁体字/簡体字中国語
プラグアンドプレイ		DDC 2B
タッチパネル		AccuTouch /IntelliTouch
電源アダプタ		入力：AC 100-240V、50～60Hz、出力：DC 12V/4A
稼動条件	温度	0° C ~ 40° C
	湿度	20% ~ 80% （凝結無し）
	高度	0 ～3,000m
保存条件	温度	-20° C ~ 50° C
	湿度	10% ~ 90% （凝結無し）
	高度	0 ～12,192m
外形寸法（HxWxD）		383.05 x 276.5 x 213.2mm
重量（梱包前）		5.2Kg
認証		CUL、UL、CE、FCC、VCCI、ICES-003

15型LCDタッチモニター（1519L）寸法図



19型LCDタッチモニター（1919L）寸法図



規制情報

I. 電気安全情報：

A) メーカーのラベルに記載の電圧、周波数など、必ず最新要件を順守してください。規定の電源と異なったものを接続するなど要件に従わない場合、不適切な稼動、装置への損傷、火災の原因を招く恐れがあります。

B) 本装置内にはユーザーが修理できる部品はありません。本装置が生じる危険電圧があり、安全上の問題を招く恐れがあります。修理は資格があるサービス技術者のみが行ってください。

C) 装置を主電源に接続する前の設定についてご質問がある場合は、資格のある電気技師またはメーカーにお問合せください。

II. 放射および電磁波耐性情報

A) 米国内のユーザーに対する通知：本装置はFCC規則第15章に定められたクラスAデジタル装置に関する規制要件に基づいて所定の試験が実施され、これに適合するものと認定されています。これらの規則要件は、住宅で設置した場合に有害な妨害から妥当に保護するためのものです。指示に従って本装置を取り付け、使用しなかった場合、電磁波を発生・使用し、外部に放射することがあり、無線通信に有害な混信を招く恐れがあります。

B) カナダのユーザーに対する通知：本装置はカナダの業界によって無線妨害規制で定められたデジタル装置から放出される電波雑音に関するクラスBに適合しています。

C) 欧州連合のユーザーに対する通知：装置に付属の電源コードと相互接続ケーブルだけを使用してください。規定のコードやケーブル以外を使用すると下記の規格規定の電気安全、放出あるいは電磁波耐性に関する認証マークを損なう可能性があります。

この電子機器にはメーカーのラベルに認証マークを貼付するように義務付けられており、このマークは下記の指示および基準に従って検査されたことを意味します。本装置は欧州規格EN 60601-1およびEN60601-1-2に記載の2004/108/EC EMCおよびLVD 2006/95/ECに基づいて認証マークの要件に従って検査されました。

D) すべてのユーザーに対する一般情報：本装置は電磁波を発生・使用し、外部に放射することがあります。本書に従って本装置を取り付けしたり利用しなかった場合は、無線通信およびテレビ通信の電波妨害を引き起こす可能性がありますが、場所によって妨害の原因が異なるため、特定の場所によっては妨害が起きないという保証はありません。

1) 放射および電磁波耐性の要件に見合うため、ユーザーは下記事項を順守してください：

a) 本デジタル装置とコンピューターを接続する場合は、付属のI/Oケーブルのみを使用してください。

b) 要件を順守するために、メーカー指定のラインコードのみを使用してください。

c) 要件順守の責任がある当事者によって明確に承認されていない装置を変更・修正すると、ユーザーが装置の操作権利を失う可能性があるという点についてユーザーは注意を受けています。

2) 本装置が無線あるいはテレビ受信、あるいはその他の装置の受信妨害を引き起こす原因であると思われる場合：

a) 装置の電源をオフにして放射元を確認してください。

b) 本装置が妨害元であると確認される場合は、下記のいずれかの方法で妨害しないように修正してください：

i) 妨害を受けたレシーバーからデジタル装置を離す。

ii) 妨害を受けたレシーバーに対してデジタル装置を再配置（向きを変える）する。

iii) デジタル装置とレシーバーの分岐回路が異なるようにデジタル装置を違うACコンセントに差し込む。

iv) デジタル装置が使用しない一切のI/Oケーブルの接続を切るか、外す。（切断していないI/Oケーブルは、電波周波数の放出レベルを増す可能性があります。）

v) デジタル装置を接地コンセントのみに差し込む。ACアダプタープラグを使用しないこと。（接地したラインコードを取り外したり切ったりすると無線周波数の放出レベルを増加する可能性があります。また、ユーザーに致死的な感電の危険を及ぼす可能性もあります。）

さらに援助が必要な場合は、ディーラー、メーカー、ベテランの無線あるいはテレビ技術者に相談してください。

III. 検定代行機関

以下の認証は本モニタ用に発行されています：

- カナダCUL
- カナダIC
- 欧州CE
- 日本VCCI
- FCC
- 米国UL

中国RoHS

根据中国(电子讯息产品污染控制管理办法)，以下部份列出本公司产品中可能包含的有毒和／或有害物质的名称和含量

部件名称	有毒有害物质或元素					
	铅(Pb)	汞(Hg)	镉(Cd)	六价铬(Cr^{6+})	多溴联苯(PBB)	多溴二苯醚(PBDE)
塑料部件	O	O	O	O	O	O
金属部件	X	O	O	O	O	O
电线电缆组件	X	O	O	O	O	O
LCD屏	X	X	O	O	O	O
触控屏	X	O	O	O	O	O
电路模组	X	O	O	O	O	O
软体(CD等)	O	O	O	O	O	O

O 表示该有毒有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在SJ/T 11363-2006标准规定的限量要求下。
X 表示该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出在SJ/T 11363-2006标准规定的限量要求,对于所有显示X的情况,本公司按照EU RoHS采用了容许的豁免指标。

产品标示说明

(1) 根据 SJ/T11364-2006 要求，本公司电子信息产品均注明以下污染控制标志。本产品环保使用期限为10年，在下列温度和湿度使用的条件下，不会发生外泄或突变，使用该电子讯息产品不会对环境造成严重污染或对人身财产造成严重损害。
*操作条件 温度: 0 ˚C~40 ˚C(32 ˚F~104 ˚F)／湿度:20%~80% (不凝结)
*储存条件 温度: -20 ˚C~60 ˚C (-4 ˚F~140 ˚F)／湿度:10%~90% (不凝结)

(2) 本公司鼓励并建议客户将本产品依据所在地的相关法令，进行回收及再利用，切勿随意与一般垃圾丢弃。

注意：此产品需要配合经过认证的电源，不可随便使用其他电源。

P/N E186788 821107100103

保証

特に指定のない限り、あるいは買い手に対する受注承諾がない限り、売り手は製品の材質や仕上がりに欠陥がないことを買い手に保証します。随意保証期間を除いて、タッチモニターおよび製品部品の保証は3年間とします。

売り手はモデル部品の寿命についての保証はしません。売り手の供給者は、常時および時折、製品として出荷した部品の変更を行うことがあります。

上記の保証に適合する製品の不具合が発見した場合、売り手は買い手に対して迅速に（どのような場合でも発見から三十（30）日以内に）書面にて通知しなければなりません。通知には、そのような不具合に関する状況など商用的に適度な詳細を記述しなければなりません。可能な場合は、売り手はインストールした製品の検査を行わなければなりません。売り手による書面の指示があった場合を除いて、通知はそのような製品の保証期間内に売り手が受領する必要があります。そのような通知を送付してから三十（30）日以内に、買い手は不良品であるとされている製品を受領時の出荷用ダンボール箱、あるいは機能的に同等のものに梱包して買い手の費用および危険で売り手宛に発送しなければなりません。
不良品であるとされている製品を受領してから、および売り手が上記の保証を製品が満たしていないという確認をしてから適度な期間内に、売り手は (i) 製品の修理あるいは変更、(ii) 製品の交換 のどちらかの方法によってそのような不良品を修正しなければなりません。製品のそのような変更、修理、交換、および返却する際には買い手に対して最低の保険を含み、費用は売り手側が支払うこととします。 製品発送中に起きる紛失あるいは損傷の危険は買い手が負い、買い手はその製品に保険をかけることができます。買い手は製品の返品にかかった郵送料を売り手から払い戻し請求できますが、売り手が不良品でないと判断した場合は払い戻し請求はできません。製品の変更、修理は売り手のオプションによって行い、売り手の施設か買い手の敷地のどちらかで行います。売り手が上記の保証に適合した製品の変更、修理、交換を提供できない場合は、売り手は売り手のオプションによって製品購入価格から買い手が提示する保証期間の定額減価償却を差し引いた額を買い手に払い戻しするか、買い手の口座に入金する必要があります。

これらの救済措置は保証不履行が起きた場合の買い手専用の救済措置とします。上記に明示されている保証を除いて、売り手は製品の目的適合性、品質、商品性、権利を侵害していないことなどの点を含む明示または暗示の保証を認めません。売り手の従業員、あるいはいかなる当事者も本書に記載の保証以外は商品の一切の保証をしてはなりません。保証に基づく売り手の負担は製品の購入価格を払い戻しすることに限定します。いかなる場合も売り手は買い手が購入、あるいは取り付けた代替品の価格、あるいは一切の特別な、誘発的、間接的、偶発的な損傷などの責任は負いません。

買い手は危険要素を前提とし、(i) 買い手の製品の使用目的に対する適合性、一切のシステム設計あるいは製図の評価、(ii) 買い手が使用する製品の適用法、規制、規約、標準規格に対する順守の判断、などに関するすべての責任から補償しかつ無害に保つことを補償し同意します。買い手は、売り手が製造、供給した製品、部品を含むあるいは盛り込むすべての保証およびその他の請求に対するすべての責任を保持しかつ受理します。

買い手は買い手が認可する製品に関する一切かつすべての言明事項、保証に対する唯一の責任を負います。買い手は売り手を補償し、買い手の製品、言明事項、保証に起因する一切の負債、請求、損失、価格、費用など（妥当な弁護士の料金を含む）同様のものに対して損害を売り手に与えません

Elo社のウェブサイトをご覧ください。

www.elotouch.com

以下の最新情報をご覧ください。

- *製品別情報*
- *仕様*
- *次回イベントに関するニュース*
- *プレスリリース*
- *ソフトウェアドライバ*
- *タッチモニターについてのニュースレター*

Elo社へのお問い合わせ

Elo社のタッチソリューションに関する詳細については、弊社のウェブサイト　www.elotouch.comをご覧いただくか、最寄のオフィスまでご連絡ください。

北米
Elo TouchSystems
301 Constitution Drive,
Menlo Park, CA 94025
USA

(800) ELO-TOUCH
(800-557-1458)
電話：650-361-4800
Fax：650-361-4722
customerservice@elotouch.com

ドイツ
Tyco Electronics Raychem GmbH
(Elo TouchSystems Division)
Finsinger Feld 1
D-85521 Ottobrunn
Germany

電話：+49(0)(89)60822-0
Fax：+49(0)(89)60822-180
elosales@elotouch.com

ベルギー
Tyco Electronics Raychem GmbH
(Elo TouchSystems Division)
Diestsesteenweg 692
B-3010 Kessel-Lo
Belgium

電話：+32(0)(16)35-2100
Fax：+32(o)(16)35-2101
elosales@elotouch.com

アジア太平洋
Sun Homada Bldg. 2F
1-19-20 Shin-Yokohama
Kanagawa 222-0033
Japan

電話：+81(45)478-2161
Fax：+81(45)478-2180
www.tps.co.jp

© 2009 Tyco Electronics. Printed in USA

Tyco Electronics